

●組合員と組合員理事と職員をむすぶ●



みんなのVOICE 第25号
2023年2月発行
コープ自然派おおさか
理事会VOICE

ビジョン たべる



メンバー数：5人
主な活動場所：からふる

国産オーガニック・食の安全に関わる講演会・生産者見学…などなど楽しく企画しています。食べることが大好きで、知識豊富なメンバーがいっぱい！会議での企画はもちろん、お話しするだけで楽しく学びが深まりますよ。子育て中のママから、お孫さんのいる世代まで幅広いメンバーです。食べることに興味のあるかた、ぜひ見学にきてください！

メンバーおすすめ商品／
「トライベッカ・ベーカリーのベーグル」

みんな大好き！トライベッカ・ベーカリーのベーグルもちもちした食感が美味しい！チョコベーグル焼いたら風味が増して美味しい！ほうれん草ベーグルサーモンとクリームチーズを合わせたら最高！



ビジョン くらす



メンバー数：7人
主な活動場所：からふる・ドーンセンター・クレオ中央

人と自然が調和し、生きやすい社会・持続可能な暮らしをめざします。社会を構成する人々は多様性に富んでいる。尊重し合い、支え合うことが気付ける何かを学びます。このままでは地球が持たない！SDGs(持続可能な環境)は身近な場所から考え、行動できる目標です。そのためにSDGsを正しく知って、理解をしていきます。

ビジョン つなぐ



メンバー数：4人
主な活動場所：からふる、ドーンセンター

「～一人ひとりが学び、大きく輪をひろげ、平和な暮らしを未来につなぎます～」
一見とっつきにくい印象のテーマですが、私たちの生活と密接な関係にある「政治・憲法・平和」「脱原発問題」何も声をあげないままだと知らないうちに「え？いつのまに？」と大切な

事が決められてしまいます。その前に学び、知ることで自分ごとに考えてみませんか？ぜひ一緒にイベント企画しましょう！子どもたちへ平和のバトンで未来をつなぎましょう！

前回(2022年10月発行・第24号)では「組合員活動って楽しい！」と題して、各地でのブロック活動を紹介しました。今回も楽しく組合員活動をしている、ビジョン(たべる・くらす、つなぐ)・商品委員会・おおさかの学校給食を考える会・チームの紹介と、新しいブロック「ひょうたん」の紹介です♪
皆さんも一緒に組合員活動をしてみませんか？メンバー募集中です！！
裏面には「ワクチン」のコラムと漫画を掲載しています。是非ご覧ください♪

商品委員会



メンバー数：6人
活動地域：からふる、クレオ大阪西

メンバーは和歌山をはじめ、東大阪、北摂、大阪から幅広く集って活動しています。新商品の試食をしたり、商品のアイデアを出し合ったり、皆でわいわいと楽しく活動しています。商品や食にご興味のある方はぜひ一緒に！！

メンバーおすすめ商品／

「自然派のお米」粒が大きくて甘味がある。
「自然派のお野菜(小松菜)」新鮮で日持ちがする。安心できるので生食しても甘味があっておいしい。

おおさかの学校給食を考える会



メンバー数：活動メンバー8名、
グループメンバー22名、サポートメンバー28名

子どもたちが健やかに美味しい給食をいただける。そうして国産オーガニックが増えて行く、そんな未来のビジョンを目指しています。大阪府全体に向けて取り組む活動メンバー、それぞれの地域で取り組むグループメンバー、会の活動を応援して下さるサポートメンバーさんと共に、コツコツ活動中です。写真は活動メンバーです。

和歌山の学校給食を考える会



メンバー数：4人

子どもたちが毎日食べる学校給食に、安心安全な食材を使ってもらえるように活動しています。活動内容としては、現場の栄養士さんのお話会や、和歌山県産小麦を使ったクッキングを行いました。今後は、給食センターへの訪問やオーガニック野菜を使っのクッキング、収穫体験などを考えています。一緒に給食に関するイベントの企画運営をしてみませんか？

おやこねっこそだて

メンバー数：4人

未就学児から大学生の子どもを持つメンバーが、子育てや教育について気になる事を持ち寄り、その中から「他の人にも知ってもらいたい」「一緒に考えてみたい」等と思う事をイベントにしています。それぞれが色々な情報を持ち寄るので、毎回話が尽きないのですが、それを聞いてみたい！というだけでもOK。気軽に覗きにきて下さい。

NEWブロック／ ひょうたん

メンバー数：3人
活動地域：東大阪市瓢箪山付近



2022年秋に発足したばかりの新しいひょうたんブロックです。主に東大阪市瓢箪山付近で活動しており、子育て中のママ達3人で食や環境や子育て、その他色々楽しく話しながら活動しています。まだまだ活動し始めたばかりなので手探り状態ではありますが、今後楽しいイベント企画や、日々の生活や心が豊かになるような知識なども共有できる場になればと思います。ご一緒いただけるメンバーも大募集中です！

大阪南部エリアのブロック・おおさか東ブロック現在準備中につきメンバー大募集中です♪

自然な子育てを楽しむ隊

メンバー数：3人

自然派免疫力club

メンバー数：7人

堺 香害を知る会

メンバー数：4人

ピース・レラ

メンバー数：9人

どんな時も命を守る守られる。安心して働いて食べて暮らせる社会！平和…政治のありよう…命、暮らし、環境、教育等、沢山の事と繋がっています。食を守る事は平和を守る事、ピースレラで話しませんか！知る事は元気の源。皆で元気になりましょう。Zoom会議も始めました。



JINKEN

メンバー数：4人



日々の生活の中で、なんだか辛い・・・と感じることってあるよね？それはなんでやる？・・・そんなこんなを気軽に話せる「場」ができればええな～と、ぼちぼち活動しています。定例会(月1もできないけど)は、豊中の国際交流のカフェで。楽しく情報交換や企画作りをしています！
#メンバー絶賛募集中で～～♡

子どもと地球の未来を考える・大正ズ♪

メンバー数：7人

子育て世代を中心に、絶妙なタイミングで出会った仲間。

チーム名にもある通り全員が大正区民です。春からメンバーが1人増え、集まると話題が尽きず時間がたらん！が口ぐせのチームです。

「食べることは生きること」をモットーに、

未来を生きる子ども達にとっても「幸せ＆愉しむ」につなげていけるようなイベントを企画しています♪よろしくお願ひします！

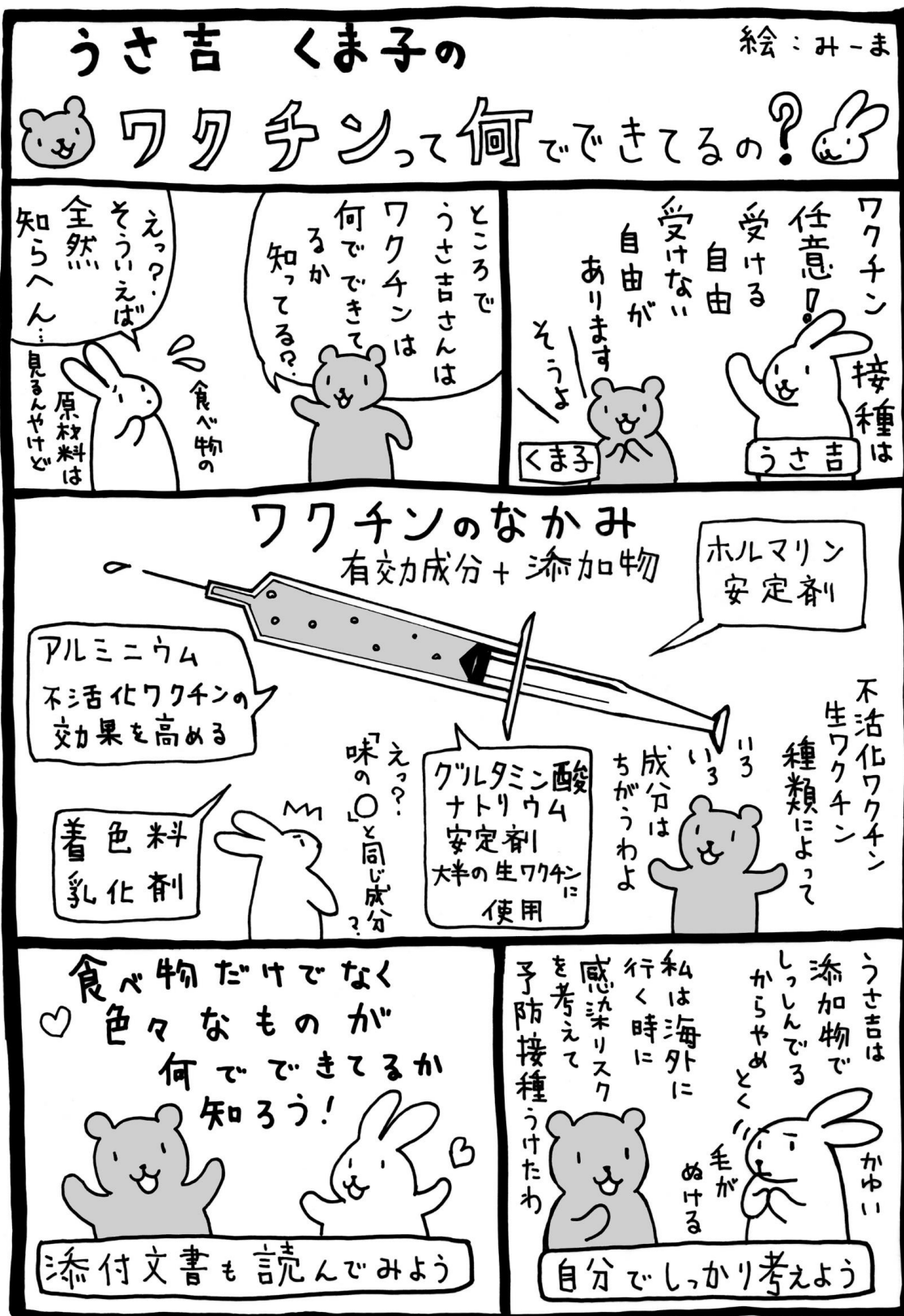


サークル／

組合員が自発的に取り組む、サークル活動もあります♪

子どものワクチンについて思うこと。

理 事 コ ラ ム by.Rita



私には現在7歳の娘と4歳の息子がいる。子どもを出産して驚いたのは、まるでスタンプラリーのような母子手帳のワクチン接種欄。妊娠中はアルコールはダメ、カフェインは控えて、魚の水銀にも気をつけて…なのに生まれて間もない未熟で小さな体に、劇薬であるワクチンを何本も打つ違和感。その違和感を拭いきれずにモヤモヤしたまま、生後2か月〜1歳までのワクチン（ヒブ×3回、小児肺炎球菌×3回、4種混合×3回、BCG×1回、合計10回）は接種した。1日に右足上、右足下、左足下の3か所に同時接種される姿を見て、心底心配になった。

そもそもなぜワクチンを打つのか？皆打ってるから？国が推奨してるから？無料（公費）だから？ワクチンで本当に病気が防げるのか？子育てしながら考える日々。

【ワクチンを打たないで何かしらの病気に罹ること】と【ワクチンを打つことによる副反応や後遺症】を比べてみた時に、打つことにより何かある方がきつと私は後悔するだろうと判断した。それからワクチンに関する書籍を読み漁り、勉強会に行つて情報収集し、自分なりに考えた結果【子どもの体がもっと成長した後、どうしても打つ必要を感じた時にはお金を払ってでも打とう】という結論に落ち着いた。

打たないという選択をした後。

1歳以降のワクチン未接種の娘と、生まれてから一度もワクチン接種をしていない息子。今まで一番ストレスを感じたのは、1か月、3〜4か月、9〜10か月、1歳6か月、3歳時にある各健康診査。必ずワクチン未接種について言及される。息子の1歳6か月児健診時には、担当した医師に『無知な母親が勝手に素人判断をするな』『病気になるって重症化したら母親の責任だ』『周りにも迷惑だ』とヒステリックに喚かれ、とても嫌な思いをした。

その他には、近所の病院に保育園の入園時に必

要な健康診断書を貰いに行くと『ワクチン未接種なので団体行動に適さない』という理由で診察を断られたこともある。ワクチンに接種義務はなく努力義務のはずなのに、現実はなかなか厳しいことを思い知った。

気をつけたこと。

①病気になるににくい体づくりを心がけた。（最低3歳になるまでは、ほぼ無農薬・無添加・白砂糖なしの食事等）

②万が一、水痘・風疹・麻疹などのワクチン接種する病気に罹患した時のことを考え、その病気にはどのような症状があり、どのようなケアが必要かを調べた。

③とても大事だと感じたのは『誰とも対立しない』姿勢。ワクチンを強要する医師や看護師も、私とは違う方向性ではあるが子どもを想つてのことと受け止め、反論や議論は一切しなかった。

『アレルギーが怖くて…』『いずれ自費で打とうと考えています…』とやり過ぎし、『ワクチンが本当に効くのなら、打ちたい人が打てばその人は病気になるんだから、打ちたくない人のことは放つておいて下さい』『打つか打たないかは熟考した。努力義務は果たしてます』なんて間違つても言うてはいけない。ワクチン未接種を医療ネグレクトとして、児童相談所に一時保護される一因となり得るケースが見受けられるので、ここは細心の注意を払った。

夫婦間でワクチンに対する考え方が違い衝突する、という話もよく耳にしたが幸いにも我が家ではすぐに夫の理解を得られた。

動物病院に勤務して思ったこと。

トリマー兼看護師として、動物病院に数年間勤務していたことがある。動物病院は狂犬病・混合ワクチンやフィラリア症予防等で4〜6月が繁忙期。勤めていた動物病院では特に問診も行われず、

数分で終わるワクチン接種はとても回転率が良く、売上に貢献する。病院に病気でない元気な犬が毎年訪れ、ワクチン接種をする。たとえ接種後すぐに体調を崩しても、製薬会社が製品（ワクチン）について責任を負うことはない。

なんて効率の良いビジネスモデルなんだろうと思つた。ワクチンにはホットロットと呼ばれる、特に副反応が多数出るロットナンバーが存在する。製造上の問題は問われていないのか？気になることがたくさんあった。

最後に。

私はいわゆるワクチン推進派でも反対派でもありません。とにかく慎重派です。愛犬には狂犬病ワクチンを毎年接種していましたが、研究者・開発者でもないのにワクチンについての本当のところは解りません。ですが自身で判断が出来ない子どものワクチンについては、私達大人が本気で考えて欲しいのです。娘の母子手帳に記載の定期接種は8種類でした。3年後に生まれた息子の母子手帳は定期接種が10種類に増えていました。私が子どもの頃にももちろんワクチン接種はありましたが、子どものうちに病気に罹つて治し免疫を獲得する、という自然な子育ての考え方がまだありました。今はまるで絶対に病気に罹つてはいけない！とでもいうかのように、ワクチンが増え続けています。増え続ける医療費に比例して私達は健康を手に入れてきたのでしょうか？病気になるににくい、または病気になることも治せる体づくりを日々心掛ける事こそ最良かと思えます。今回のVOICEがワクチンについて何かしら考えるきっかけ、または子どものワクチンについて迷っているママの参考になれば嬉しいです。最後までお読みいただきありがとうございます！



参考文献「子どもと親のためのワクチン読本」 母里 啓子

連絡先 コープ自然派おおさか 組織企画部

メール：kikaku07@shizenha.co.jp
TEL:072-635-0777 (月〜金 9:00〜18:00)



MAIL送信用QRコード